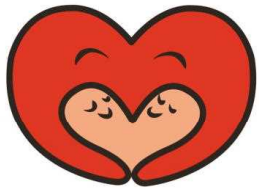


# 宮崎県教育委員会では 「いのちを大切にできる教育」を推進しています。

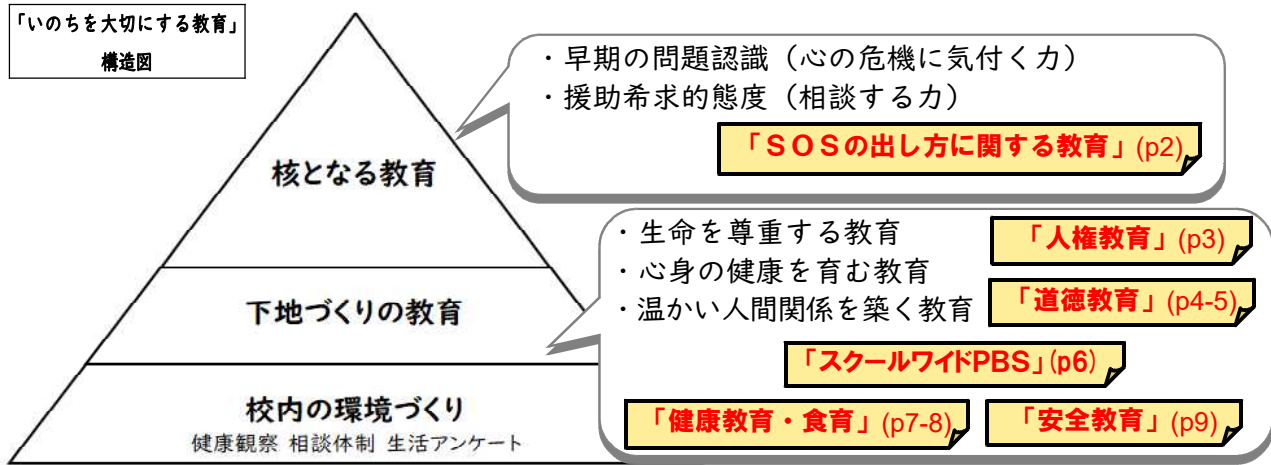
- 目指す子ども像
- 生まれてきてよかったと思い、「いのち」にかかわるまわりの人・ものに感謝する子ども
  - 自分の「いのち」を大切に、「いのち」いっぱい生きる子ども
  - 「いのち」が繋がっていることを実感する子ども



宮崎県「いのちを大切にできる教育」

**\*\*\* リーフレットのねらい \*\*\***

各学校における「いのち」に係る取組について整理することで、各学校における『「いのちを大切にできる教育」の年間をととした実践』の充実を図る。



[図] 自殺予防教育の構造（文部科学省）を基に作成

「生徒指導提要（令和4年12月）」（文部科学省）より（参照）

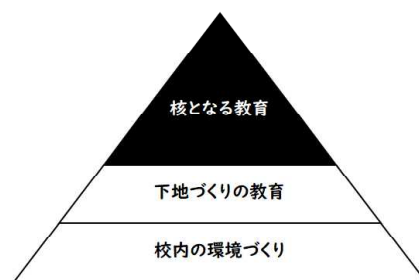
- ★ 自殺予防につながる多様な下地づくりの授業を、児童生徒が「未来を生きぬく力」を身に付けるという視点から、生徒指導・教育相談・キャリア教育・健康教育・道徳教育・特別支援教育等を横断する重要課題として位置付け、全校体制で取組を進めることが大切である。
- ★ これらの教育活動を充実させていくためには、児童生徒が安心して学び、生活できる学校環境を整えることが不可欠であり、困ったときに相談できる児童生徒と教職員との信頼関係づくり、保健室や相談室などを気軽に利用できる場とする居場所づくりなどが求められる。

※ 各学校の実践を「いのちを大切にできる教育」の視点で整理することで、子どもたちのいのちを守る教育を推進しましょう！

## 「SOSの出し方に関する教育」について

「SOSの出し方に関する教育」とは、「児童生徒が命や暮らしの危機に直面したとき、誰にどうやって助けを求めればよいか具体的かつ実践的な方法を学ぶ教育」とされています。

右に示した構造図においては、一番上の「核となる教育」にあたります。



○県内では、以下のような取組が行われています。

実践の概要とその感想

### 【小学校】

不安や悩みがあることは自然であることを伝え、対処方法について考えさせる。  
→ 悩みを相談する相手は先生や友達、家族だけでなくたくさんの窓口があることが分かった。これからは身近に悩んでいる人がいたら助けてあげたい。

### 【中学校】

「不安や悩みへの対処方法」として、上手な話の聴き方についてロールプレイを体験する。

→ 聞き手の態度によって、話し手の話す意欲が変わってくるんだなと思った。

### 【高等学校】

「困っている友達の助けになる」というテーマで、避けた方がよい声かけや自分が悩んでいたらどう相談すればよいかについて学ばせる。

→ 困っている人に話しかけるのはとてもよいことだけど、一人にしてほしいときもあるので、ちゃんと話を聴いてあげたいと思った。

○「SOSの出し方教育推進校」(R2～R4)

・串間市立福島小学校 ・えびの市立飯野中学校 ・県立延岡高等学校

## Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は次のようなものがあります。

国)「子供に伝えたい自殺予防－学校における自殺予防教育導入の手引－」  
(文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/063\\_5/gaiyou/1351873.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/063_5/gaiyou/1351873.htm)



国)「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」(文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/046/gaiyou/1259186.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/046/gaiyou/1259186.htm)



県)「SOSの出し方に関する教育」授業展開例

<https://mkkc.miyazaki-c.ed.jp/page-3965/>



「SOSの出し方に関する  
教育ハンドブック」



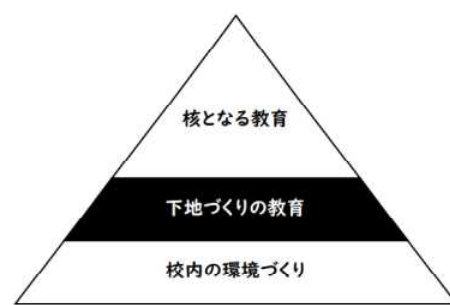
## 各学校へのメッセージ

「SOSの出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育を実施するなどにより、児童生徒自身が心の危機に気付き、身近な信頼できる大人に相談できる力を培うとともに、児童生徒が安心してSOSを出すことのできる環境を整備しましょう。

## 「人権教育～ピア・サポート活動」について

ピア・サポートとは、子どもたちが悩みや心配事などの問題を抱えたときに、助けを求めることが一番多い相手は友人であることから、ピア（仲間）同士による相談等の支援を行う活動のことです。

右に示した構造図においては、「下地づくりの教育」に当たります。



○県内では、以下のような取組が行われています。

実践の概要とその感想

### 【小学校】

場面にあった温かな言葉かけを考え、ペアで役割演技を行う。

→ ペアの友達から温かな言葉をかけてもらってハッピーになりました。みんなとコミュニケーションが取れて、仲を深められた。

### 【中学校】

エゴグラム（自他理解ワークシート）の作成をとおして、児童生徒が自分の性格を客観的に捉え、自他理解のための具体的な視点をもてるようにする。

→ 自分の特徴を知ること、今のクラスだけでなく今後所属する集団の中でもそれを生かしていけると思った。

### 【特別支援学校】

相手の立場になって自分が発した言葉を振り返らせ、そのときの相手の気持ちを温度計のように視覚的に表すことで、相手の気持ちを考える。

→ 自分の気持ちだけでなく相手の気持ちも温度計で表すことで、間違いに気づき反省することができた。

○「ピア・サポート推進校」（R2～R4で順次指定）

宮崎市（宮崎中、久峰中、住吉中、瓜生野小） 日南市（桜ヶ丘小）

西都市（妻中、穂北中） 川南町（東小） 都農町（都農中） 都城市（西中）

三股町（三股中、三股小） 小林市（西小林小） えびの市（上江小）

高原町（後川内小） 延岡市（恒富中、南小、北浦小） 門川町（門川小）

高千穂町（高千穂中） 県立宮崎東高等学校定時制

Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は次のようなものがあります。

県）宮崎県「いのちの教育週間」リーフレット（令和2年度版）

<https://himuka.miyazaki-c.ed.jp/life/index.htm>



参考図書）『ピア・サポート実践ガイドブック』（ほんの森出版）

『すぐに始められるピア・サポート指導案&シート集』（ほんの森出版）

各学校へのメッセージ

教師の指導・援助の下に、子どもたちが互いに思いやり、助け合い、支え合う人間関係を育むために行うピア・サポート活動をとおして、思いやりのある学校風土の醸成につなげましょう。

## 「道徳教育」におけるいのちを大切にす教育について (小・中・義務教育学校等)

「特別の教科 道徳」における「いのちを大切にす教育」は、「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の「19 生命の尊さ」の内容項目において指導していきます(学習指導要領参照)。

児童生徒の発達の段階を考慮した、適切な指導が必要となります。

右に示した構造図においては、「下地づくりの教育」に当たります。



○ 県内では以下のような取組が行われています。

実践の概要とその感想

### [小学校 第1学年及び第2学年]

お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの誕生を心待ちにする主人公の気持ちを考え、生命の誕生から命について考える。

→ 自分の心臓の音を初めて聞いて、ドキドキした。不思議な気持ちでした。

### [小学校 第3学年及び第4学年]

植物のお世話をする主人公の気持ちの変化から、植物も生きていることについて考える。

→ 植物にも命があり、愛情をもって接する事が大切だと思った。

### [小学校 第5学年及び第6学年]

原爆投下により、母とはぐれた子どもと、その子どもを守ろうとする女学生の話から命について考える。

→ 死んだらもどってこない。人を傷つけることはいけない。自分がされていやなことはしない。命は一つだから大切にす。

### [中学校]

東日本大震災の被災地で生まれた子どもたちに椅子を送るプロジェクトをとおして、命のかけがえのなさについて考える。

→ 困っている人、悩んでいる人がいたら、優しく手を差し伸べたい。生きることを大切にすしてほしい。自分もこれからしっかり生きていこうと思う。

Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は次のようなものがあります。

県)「命や絆を大切にす」宮崎県道徳教育読み物資料集  
(指導の展開例など)

[https://himuka.miyazaki-c.ed.jp/seisakuka/school\\_aid\\_policy\\_division/inochi-kizuna-doutoku/index.html](https://himuka.miyazaki-c.ed.jp/seisakuka/school_aid_policy_division/inochi-kizuna-doutoku/index.html)



各学校へのメッセージ

学校における道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行われるものであり、発達の段階を考慮した、適切な指導を行う必要があります。上記の例のように、児童生徒の反応もイメージしながら授業に取り組みましょう。

## 「道徳教育」におけるいのちを大切にす教育について (県立学校)

県立学校(義務教育段階を除く)における道徳教育は、人間としての在り方生き方に関する教育として、学校の教育活動全体を通じて行います。

人間としての在り方生き方についての関心も高まるこの時期の生徒に、乳幼児や人生の先輩たちと触れ合ったり、医師や看護師などから生命に関する話を聞く機会をもったり、生命倫理に関わる問題を取り上げ話し合ったりすることなど、生命の尊さを深く考えさせ、かけがえない生命を尊重する心を育成する取組が求められます。

右に示した構造図においては、「下地づくりの教育」に当たります。



○ 県内では以下のような取組が行われています。

実践の概要とその感想

### 【各教科等の場面 公民科「公共」】

遺伝子診断や人工授精・代理出産など、生殖への医療の介入について理解し考える。

→ 「自分だったら」「身近な家族だったら」「関係者ではない視点からだったら」と、多面的・多角的に考える授業でした。決まった正解がない問題に、迷いながらもじっくりと相談し合意を目指すことの大切さを感じました。

### 【各教科等の場面 「総合的な探究の時間」】

「心の悩みについて考える」という講演を聞き、レジリエンスやストレス耐性、適応機制、思春期の心の変化、ネットやスマホ依存などについてのテーマに基づき考察する。

→ いのちの大切さや相手を思いやる気持ちの大切さ、互いに相手を認め合い、尊重できるようにしたいと感じた。さらに、自分の体や心の健康にも関心をもっていきたい。

### 【特別活動の場面 朝の読書】

資料「いのちの授業・ハンドブック」を読み、感想をふまえながら一行詩「命(いのち)の声」作品を完成させる。

→ 「『大丈夫?』この一言でかけがえない命が救われる。忘れないで。たった一言で誰かの未来が救われる」(生徒の一行詩の作品より)

Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は次のようなものがあります。

国) 道徳教育アーカイブ(文部科学省初等中等教育局教育課程課)

<https://doutoku.mext.go.jp/>

国) 高等学校における道徳教育の充実に向けて  
校内研修シリーズ No81(独立行政法人教職員支援機構)

【動画】 <https://www.nits.go.jp/materials/intramural/081.html>

【資料】

[https://www.nits.go.jp/materials/intramural/files/081\\_001.pdf](https://www.nits.go.jp/materials/intramural/files/081_001.pdf)



各学校へのメッセージ

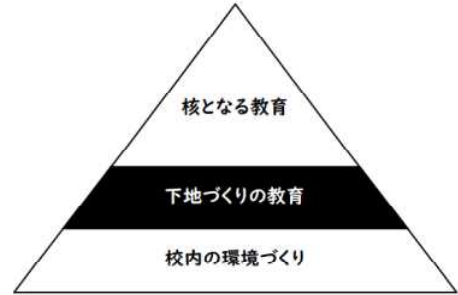
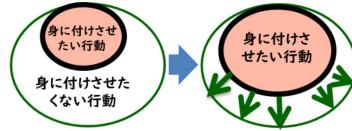
学校の教育目標やスクールポリシー、生徒や地域の実態から自校の道徳教育における重点目標や取組を明確にし、各教科や分掌等が目標等を意識した全体計画を作成するとともに、その内容を教職員全員で共有し、実践していきましょう。

# 「スクールワイドPBS (Positive Behavior Support)」について

～温かい人間関係を築く教育の取組～

## Q どのような取組ですか？

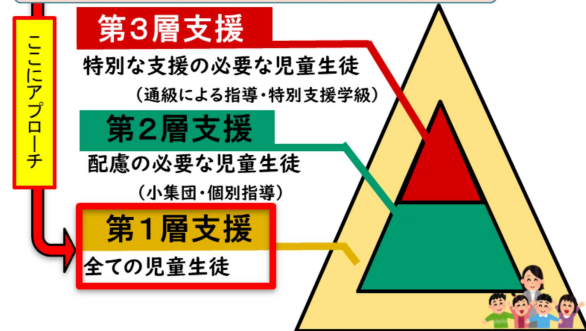
A 児童生徒が示す問題行動に注目するのではなく、「身に付けさせたい行動を育てる」という発想の下、学校の実情や課題等を踏まえて場面ごとに行動目標を設定し、学校全体で全ての児童生徒を対象に肯定的な方法で支援する組織的な取組です。



### 《時間・場面ごとの行動目標の設定例》

	主体的な子ども	思いやりのある子ども	たくましい子ども
授業中			
清掃の時間	それぞれの時間、場面ごとに行動目標を設定する。		
集会の時間			
教室移動中			

ポジティブ行動支援(PBS)とは、意欲を高める「引き出す工夫」と「認める・褒めるための工夫」



### 《実践支援校での効果》

- ・ 友達のよいところを見つけて褒める行動が増えた。
- ・ 長期欠席の生徒が減少した。
- ・ 児童が授業に主体的に取り組む場面が増えた。
- ・ 教員の意識が変わった。

教員全体が一貫した指導をすることで、児童の戸惑いもなく、学級が落ち着いた雰囲気になってきました。また、不適応を起こす児童が減り、教材研究等に充てる時間が増えました。



### 《スクールワイドPBS実践支援校（宮崎大学と共同研究）》

- 令和元年度（試行）（4校）  
県立高鍋農業高校、宮崎市立宮崎小学校、日南市立飫肥小学校、小林市立小林小学校
- 令和2・3年度（7校）  
門川町立草川小学校、新富町立富田小学校、三股町立三股西小学校  
延岡市立岡富中学校、宮崎市立大淀中学校、日南市立油津中学校、串間市立串間中学校
- 令和4年度（8校）  
高千穂町立岩戸小学校、西米良村立村所小学校、西都市立妻北小学校、えびの市立岡元小学校  
高原町立狭野小学校、日南市立東郷小・中学校、小林市立細野中学校、三股町立三股中学校

## Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は次のようなものがあります。



宮崎県教育研修センター HP  
新富町立富田小学校発表  
<https://mkkc.miyazaki-c.ed.jp/wp-content/uploads/2023/02/B%E3%80%90%E5%AF%8C%E7%94%BO%E5%BO%8F%E3%80%91SWPBS.pdf>



宮崎県教育研修センター HP  
日南市立油津中学校発表  
<https://mkkc.miyazaki-c.ed.jp/wp-content/uploads/2023/02/A【油津中】SWPBS.pdf>

## 各学校へのメッセージ

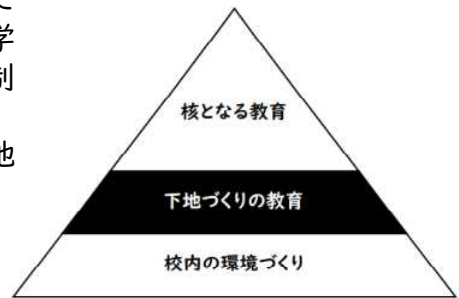
「スクールワイドPBS」を先行的に導入した学校においては、児童生徒が自分自身を肯定的に捉えるだけでなく、学校の取組や教員の指導を肯定的に受け止めるようになったという変化が現れてきています。

# 「健康教育について」

## Q どのような取組ですか？

A 健康教育においては、児童生徒の現代的な健康課題に適切に対応するため、地域の専門家等と連携し、学校における保健教育の実施及び学校内外の相談体制の充実を図る教育活動を行っています。

右に示した構造図においては、実施に向けた「下地づくりの教育」に当たります。



○県内では、以下のような取組が行われています。

《学校への専門医の派遣による講話等の実施》

(精神科、整形外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科)

年度	派遣数	内訳
令和2年度	13	産婦人科：7校 精神科：4校 整形外科：1校 泌尿器科：1校
令和3年度	26	産婦人科：17校 精神科：5校 整形外科：4校
令和4年度	33 (予定)	産婦人科：25校 精神科：4校 整形外科：3校 泌尿器科：1校

《専門医による性に関する相談窓口の開設》

(電話：月曜～金曜：午前10時から午後5時まで、メール、ファックス)



年度	相談件数
令和2年度	63件
令和3年度	61件

## Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は次のようなものがあります。

県)「性に関する教育 かけがえのない大切な命」(※性に関する指導の手引を改訂中)

[https://himuka.miyazaki-c.ed.jp/sports\\_shin/h24sei/index.htm](https://himuka.miyazaki-c.ed.jp/sports_shin/h24sei/index.htm)

国)「生きる力」を育む小学校保健教育の手引 平成31年3月(文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/\\_icsFiles/afieldfile/2019/07/12/1334052\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2019/07/12/1334052_2.pdf)

国)「生きる力」を育む中学校保健教育の手引 令和2年3月(文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/\\_icsFiles/afieldfile/2020/20200317-mxt\\_kensyoku-01.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2020/20200317-mxt_kensyoku-01.pdf)

国)「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引 令和3年3月(文部科学省)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/20210310-mxt\\_kouhou02-1.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/20210310-mxt_kouhou02-1.pdf)



## 各学校へのメッセージ

3年間で全ての県立高等学校へ産婦人科医が派遣されるとともに、令和5年度からは新たに小学校へ専門医を派遣し、保健指導を支援することができるよう準備が進められています。

# 「食育」について

## Q どのような取組が行われているのですか？

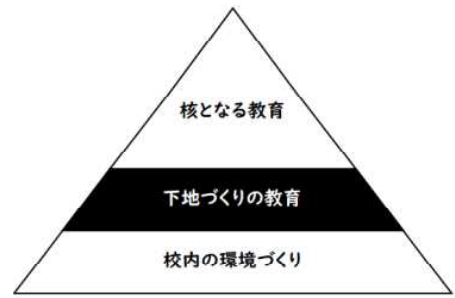
A 様々な取組の中で「弁当の日」を紹介します。「弁当の日」の取組は、「子どもの自立」「親の成長」「家族の絆づくり」が促され、子どもの成長を支える豊かな環境が醸成されることや弁当作りの一連の活動をとおして、生きていく上で必要な「食」を管理する力、調理する力などの「食」に関する実践力や食材等に対する感謝の心など「生きる力」が育まれることなどが期待されます。

右に示した構造図においては、「下地づくりの教育」に当たります。

具体的にはこれまで以下のような取組を行っています。  
 《「みやざき弁当の日」の取組の推進について啓発文書の発出》  
 《「みやざき弁当の日」の実施状況調査》

※平成29年度～令和3年度までの調査結果

	H29	H30	R元	R2	R3	
小学校	234/236	234/237	233/236	211/233	小	214/229校
	99%	99%	99%	91%		93%
中学校	121/126	121/126	116/126	98/125	中	96/122校
	96%	96%	92%	78%		79%
義務教育学校	—	—	—	—	義務	2/2校
	—	—	—	—		100%
県立学校	24/60	27/60	21/60	9/59	12校/58 (21%)	
					全日	9/35校 (26%)
	40%	45%	35%	15%	定通	0/7校 (0%)
					県中	1/3校 (33%)
合計	379/422	382/423	370/422	318/417	324/411校	
	90%	90%	88%	76%	79%	



### 《笑顔つながる「みやざき弁当の日」写真展の実施》

※ 令和4年度は、小学校13校、中学校9校、高等学校3校、特別支援学校1校の計26校から184点の応募がありました。

審査の結果、11点が優秀賞に選ばれ、11月13日(日)に開催された Karada Good Miyazaki フェスタ2022の表彰式において、10名と1団体を表彰しました。



## Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は次のようなものがあります。

県)「みやざき弁当の日」の取組の推進について

(令和4年4月22日発0550-1151)

参考図書)子どもに伝えたい和の技術「弁当」(文溪堂)

(株) オフィス弁当の日 <http://bentounohi.co.jp>



## 各学校へのメッセージ

令和5年度より、新たに食育推進事業ができるように計画中です。そこでは家庭・地域等との協働を図り、弁当の日を含めた様々な取組や食に関する啓発イベントなどが実施される予定です。

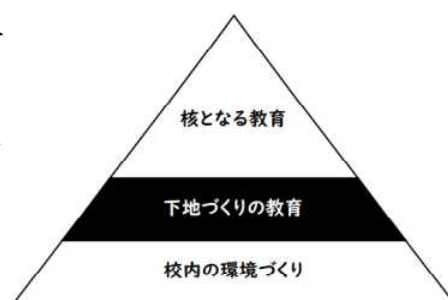


## 「安全教育～セーフティプロモーションスクール（SPS）」について

SPSとは、「地域の関係機関等と連携して、学校安全の重要性を共感し、組織的かつ持続可能な取組が着実に実践される条件が整備されている学校」であることを、日本セーフティプロモーションスクール協議会が認証する制度です。

具体的には、犯罪やいじめ対策、自殺予防を含めた生活安全や交通安全、災害安全の包括的な安全推進を目的とした活動のことです。

右に示した構造図においては、「下地づくりの教育」に当たります。



○県内では、以下のような取組が行われています。

実践の概要とその感想など

### 〔中学校〕

交通事故で家族を亡くされた被害者遺族の話を通じて、いのちの大切さを学び、自分や家族、他人のいのちを大切に思う心を育てる。

→ 話を聞いて本当につらい気持ちが伝わって、胸が痛かったので、事件や事故で人を死なせたり、自分の命を落としたりすることは絶対だめだと考えた。

地元の役場及び教育委員会の方を招き、学校安全委員に防災学習会を実施した。

→ 関係機関と連携することで、避難場所を変更したほか、避難経路を子どもたち自身が各自で考えることができた。

### 〔高等学校〕

外部講師による講演をとおして、いじめを受け自殺してしまった人の話を聞き、自他のいのちはかけがえのないものであることなどを学ぶ。

→ 「いじめ」は許されないものであり、被害者にとっては立ち上がることのできないほどの深い傷となってしまうことについて改めて考えさせられた。

地元の役場及び消防署・警察署、JR九州等へ協力を依頼して、防災訓練や防災講話、通学マナーアップ集会等を実施した。

→ 地域や関係機関とのつながりができ、計画的に学校安全に関する取組を行うことができた。

○SPS認証校

令和2年度 県立門川高校、門川町立門川中学校 ※九州初の認定

令和3年度 県立佐土原高校、宮崎市立久峰中学校

令和4年度 県立日南高校、日南市立飫肥中学校、

県立高鍋農業高校、高鍋町立高鍋東中学校、高鍋町立高鍋西中学校

Q この教育活動に学校が取り組む際、どのような参考資料がありますか？

A 主な参考資料は下記のホームページをご覧ください。

国)「文部科学省 × 学校安全」<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/>

文部科学省作成資料や全国で実施されている学校安全の取組・モデル事業を掲載



大阪教育大学「学校安全推進センター」<http://ncssp.osaka-kyoiku.ac.jp/sps>

SPS認証制度の概要や日本SPS協議会などについて



各学校へのメッセージ

全ての児童生徒が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けることを目指す姿として、学校安全(生活安全・災害安全・交通安全)の推進に取り組んでいきましょう。